

令和2年度 入札監視委員会議事概要

沖縄防衛局

開催日及び場所	令和3年3月17日(水) 於：陸上自衛隊那覇駐屯地
委員	矢吹 哲哉 (委員長：琉球大学名誉教授) 堤 純一郎 (琉球大学名誉教授) 仲里 豪 (弁護士) (五十音順) 原田 泰人 (公認会計士) 山城 勝 (元沖縄県経営者協会常務理事)

I 沖縄防衛局が発注する建設工事等に関する審議

審議対象機関	沖縄防衛局
審議対象期間	令和2年10月1日 ~ 令和2年12月31日
審議対象件数	68件

1. 入札状況について (入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数		8件	(審議概要)
建設工事	一般競争	5件	・対象期間における契約状況、低入札価格調査状況について報告 ・審議対象案件における工事・業務概要、競争参加資格の設定及び落札者決定の経緯等について説明
	指名競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等		3件	
		意見・質問	回答
○委員からの意見・質問	【契約状況、低入札価格調査状況について】 ○ 低入札価格調査は、具体的にどのような調査を行っているのか。	○ 調査基準価格を下回った業者から低入札となった理由書等の提出やヒアリングを行い、低入札理由、手持ち業務や同種業務実績等の確認を行い、問題なく履行可能であるかの調査を行っている。	
○それに対する回答等	【抽出事案について】 ● 工事 一般競争入札方式 ハンセン(R2)隊舎(4009)等新設土木工事 ○ 各入札参加者の評価点について、企業の施工能力(企業	○ 企業の施工能力(企業の能力や配置予定技術者の能力)の評	

の能力や配置予定技術者の能力)の評価点は高いが、企業の信頼性・社会性に関する評価点が低かったり、また、その逆であったりが見受けられるが、評価手法について説明されたい。

一般競争入札方式（一括審査方式）

石垣島(2) 伐採等仮設工事
(その1)

石垣島(2) 伐採等仮設工事
(その2)

石垣島(2) 伐採等仮設工事
(その3)

○ 本案件は石垣島での工事であるが、入札参加5者は全て石垣島の業者であったのか。
また、離島の場合には、地元業者と地元以外の業者で評価に差が生じるのか。

○ 離島での工事の場合には、沖縄本島からの参加もあるのか。

○ 伐採木はどのように処分するのか。

○ 実際の処分状況は確認されたのか。

○ 落札業者は次の入札が無効となる条件のもと、予定価格の高い順に開札されたとのことであるが、この3件の入札状況を見比べると、1者は入札前の辞退であり、残り4者で入札に参加しているが、いずれも1者のみが予定価格以下の調査基準価格以上であり、何か違和感を感じるが如何か。

○ (その1)では1回目で落札できずに、2回目の入札に

価は、同種工事の施工実績や工事成績等について評価している。

企業の信頼性・社会性の評価については、本案件であれば米海兵隊のキャンプ・ハンセンでの工事であるため、沖縄本島北部地域での施工実績やボランティア活動等について評価を行っている。

○ 入札参加業者は、いずれも石垣市の地元業者であった。

評価については、こちらも企業の信頼性・社会性の評価において、石垣市での施工実績やボランティア活動等についてを評価しているので、地元業者は評価点が得やすいものとなっている。

○ 大規模な工事であればあるほど、沖縄本島や県外からの参加が多くなる傾向にある。

○ 特記仕様書において、伐採木、除根等は基地外での処分としている。

○ 本件工事は、まだ着手していないが、過去の工事においては、実際の処分状況も確認している。

○ 入札の際には、積算内訳書の提出が条件となっており、事前の確認において、談合の疑義は認められなかったところである。

○ 引き続き、公平、公正な入札執行に努めて参りたい。

進んだ流れを見ると、たまたまだったのかとも思われるが、引き続き、厳正なるチェック体制のもと、適切な入札執行に努められたい。

**一般競争入札方式
石垣島（２）隊庁舎（Ａ）新設
機械工事**

- 入札参加者が１者となった理由を説明されたい。

- 離島工事は、沖縄本島に比べ応募者が少ない傾向にあり、平成２９年度から３０年度に宮古島で多くの工事を発注してきたが、同じ離島という条件で入札参加者数は１者又は２者という状況であった。

沖縄本島の業者に聞き取りをしたところ、離島では資材の調達や作業員の確保など通常の工事にはないリスクがあり参加しづらいとのことであった。

● 業 務

**一般競争入札方式
普天間（２）倉庫（６５３）等
改修建築設計**

- １者応札となった理由を説明されたい。

また、普天間（２）隊舎（４３１）内部撤去工事監理業務についても、１者応札で同じ業者が落札されているが、業務内容又は落札業者に特殊性があるのか。

- 業務の内容や条件に特に敬遠される要素はないと思うが、結果的に１者の応札となった。

また、普天間（２）隊舎（４３１）内部撤去工事監理業務については、現地での巡回が主な業務であり、技術者の移動に時間が取られるため、これまでも監理業務は入札参加が少ない状況であり、業務内容や落札業者に特殊性があるというものではない。

**一般競争入札方式
瑞慶覧（２）既設建物等解体工
事監理業務**

- 参加条件として求められた同種業務の実績で「鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造で１棟あたりの延べ床面積２００㎡以上の建物

- 新設工事ではなく解体工事の監理業務のため、対象建物の面積より小規模な２００㎡以上の工事監理の実績を求めたところである。

	<p>新設又は解体に係る建築工事の監理業務の実績を有すること」となっているが、本業務内容には2000㎡を超える建物の解体も含まれており、実際の工事内容と求める同種業務の実績及び経験にかなりの乖離がある。</p> <p>現在はリサイクルの観点から丁寧な解体が求められているため、申込者の状況を踏まえつつ、求める実績については、規模を上げるなどの検討をされたい。</p> <p>一般競争入札方式 牧補（2）土壌調査</p> <p>○ 落札業者が財団法人であるが、県出資の財団法人であれば、調査機材等も十分に揃っており、会社企業よりも有利かと思われるが如何か。</p> <p>○ 過去にも土壌調査は複数発注しているかと思われるが、毎回同じところが落札しているのか。</p>	<p>規模については、申込者の状況を踏まえつつ、御意見を踏まえて検討してまいりたい。</p> <p>○ 当省の競争参加資格を有し、公告の条件を満たしていれば、入札に参加できるものとなっている。</p> <p>同種実績があったり、現場に近いなどの諸条件がある中で、各者には参加いただいているところである。</p> <p>○ 1者に集中するのではなく、これまでも複数の業者が落札している状況である。</p>	
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>・なし</p>		
<p>2. 談合疑義案件の処理状況について</p>			
	<p>談 合 疑 義 件 数</p>	<p>0 件</p>	<p>(審議概要)</p>
<p>工</p>	<p>談 合 情 報</p>	<p>0 件</p>	
<p>事</p>	<p>点 検 結 果 疑 義</p>	<p>0 件</p>	
<p>業</p>	<p>談 合 情 報</p>	<p>0 件</p>	
<p>務</p>	<p>点 検 結 果 疑 義</p>	<p>0 件</p>	
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>意 見 ・ 質 問</p>	<p>回 答</p>	

委員会による意見の具申又は勧告の内容					
3. 入札結果の事後的・分析結果について					
審議概要					
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問		回答		
委員会による意見の具申又は勧告の内容					
4. 再苦情処理（再説明請求回答）					
再苦情申立件数（再説明請求件数）		総件数	0件	(備考)	
建設工事	一般競争（政府調達協定対象外）		0件		
	指名競争		0件		
	随意契約		0件		
建設コンサルタント業務等※			0件		
再苦情申立概要（再説明請求概要）		申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問		回答		
委員会による意見の具申又は勧告の内容					

I 陸上自衛隊が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
審議対象案件	6件

1. 入札状況について（入札参加者の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）			
抽出件数	1件		
建設工事	一般競争	1件	
	指名競争	なし	
	随意契約	なし	
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ●それに対する回答等	<p>【一般競争】 件名：庁舎建具改修工事</p> <p>○与那国駐屯地は最近新設されたはずだが、なぜ建具を取り換える必要があったのか。</p> <p>○与那国駐屯地であれば建設当時に予測できたのでは。塩害対策は行われなかったのか。</p> <p>○沖縄県の特性として今後注意すべき。今回取り換えた扉の枠はステンレス製なのか。</p>	<p>●塩害や扉の自重によってヒンジ部が破損し、扉が開閉不能となった。</p> <p>●塩害対策で扉自体はステンレス製であったが、金物がステンレス以外の材料が使われていたため塩害の被害を受けた。</p> <p>●扉の枠はステンレス製であり、金物もステンレス製を使用しております。</p>	

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
審議対象案件	123件

1. 入札状況について（入札参加者の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	5件	

地方調達等	一般競争	4件	
	指名競争	なし	
	随意契約	1件	
		意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ●それに対する回答等		【一般競争】 件名：那覇（31）旅団庁舎清掃役務（那覇） ○なぜ1社応札となったのか。 ○落札率が35%と低いのが何故か。	●前回の入札に参加し、今回入札に参加しなかった業者に確認したところ、業務多忙により入札参加できなかったとのこと。なお平成31年は1社でしたが、平成30年は2社、令和2年は3社が入札に参加しています。
		件名：普通自動二輪免許講習料ほか5件 ○なぜ1者応札となったのか。	●例年、市場調査価格も参考に予定価格を算定しているが、平成31年は業者から市場調査の回答が得られなかったため、建築保全業務積算基準により予定価格を積算した。 業者が見積もった労務量や単価と建築保全業務積算基準の労務量等に差があったため、落札率が低くなったものと考えられる。
		○自動車学校の忙しい時期をずらして講習時期を設定すれば、入札参加業者が増えたのではないか。	●契約履行期間が夏休みの繁忙期と重なっており、自動車学校の対応が難しかったためだと考えています。 また入札日から履行開始までの準備期間が1週間ほどしかなかったことも一因として考えられます。 ●各部隊の訓練や教育期間の都合上、8月から9月にかけての講習時期を設定せざるを得ません。

	<p>件名：勝連（R1）一般廃棄物収集運搬処理（那覇）</p> <p>○本契約には、草の刈取作業もこの業務に含まれているのか。</p> <p>件名：携帯電話機器通話料及び通信料（沖縄地本）</p> <p>○楽天モバイル等の安い携帯電話会社には声掛けしなかったのか。</p> <p>○入札は、いわゆるメジャーキャリアだけを対象にしたものではないということか。</p> <p>○過去にドコモやauと契約したことはあるのか。</p> <p>○過去5年くらいは応募者1社の状況か。</p> <p>【随意契約】</p> <p>件名：バスによる輸送役務（宮古島）</p> <p>○履行期日までに入札に必要な日数を確保することができなかった理由は、計画が決まるのが遅かったからなのか。</p>	<p>●含まれておりません。</p> <p>●入札公告、仕様内容等についてはホームページでも案内しており、楽天モバイル等他社はホームページで仕様内容等を確認して参加されなかったものと思われます。</p> <p>●そのとおりです。</p> <p>●本件は過去5年間ソフトバンクと契約していますが、沖縄地本では他の携帯電話契約でドコモとauとも契約しています。</p> <p>●そのとおりです。</p> <p>●計画がなかなか決まらず、最終的に輸送する人員等が決まったのが3月末でした。</p>
--	--	---

	<p>○やるやらないの判断が遅かったということか。</p> <p>○契約書の単位の「UN」とは何か。</p> <p>○1社随契となっているが、宮古島で他に対応できる業者はいなかったのか。</p>	<p>●そのとおりです。</p> <p>●「台」です。ユニットの省略です。</p> <p>●宮古島にある数社に確認しましたが、所要数の5台を準備できるのは当該業者のみでした。</p>
--	---	---